

学習意欲が低い学生の自律的学習態度を高める 事前・事後学習授業プロセスモデルの構築

現代人間学部 心理学科
教授 松島 るみ

研究種目： 基盤研究(C)
研究期間： 2017年度～2019年度
研究分野： 教育心理学



本研究では、学習意欲が低い大学生の自律的学習態度向上を主な研究課題とし、「講義型授業」における「事前学習(予習活動)」、「授業における事前活動の活用」および「事後学習」が学習方略遂行や授業理解に及ぼすプロセスとメカニズムを解明する。

主な課題は、①学習方略遂行や授業理解に効果的な「事前学習」、「事前学習を活用した授業方法」および授業内容理解の深化を促す「事後学習」の方法について、学習者の個人差要因(大学授業観・学習意欲)から明らかにすること、②特に学習意欲が低い学生において、①の効果を量的・質的データにより検証、「事前学習・事前学習を活かした授業方法・事後学習の授業プロセスモデル」を構築し、大学教育の実践的示唆を得ることである。

主な著書

・Matsushima, R. & Ozaki, H. 2016
Students' learning strategies: Effect of giving open-ended questions in advance. poster presented at the 28th International Congress of Psychology

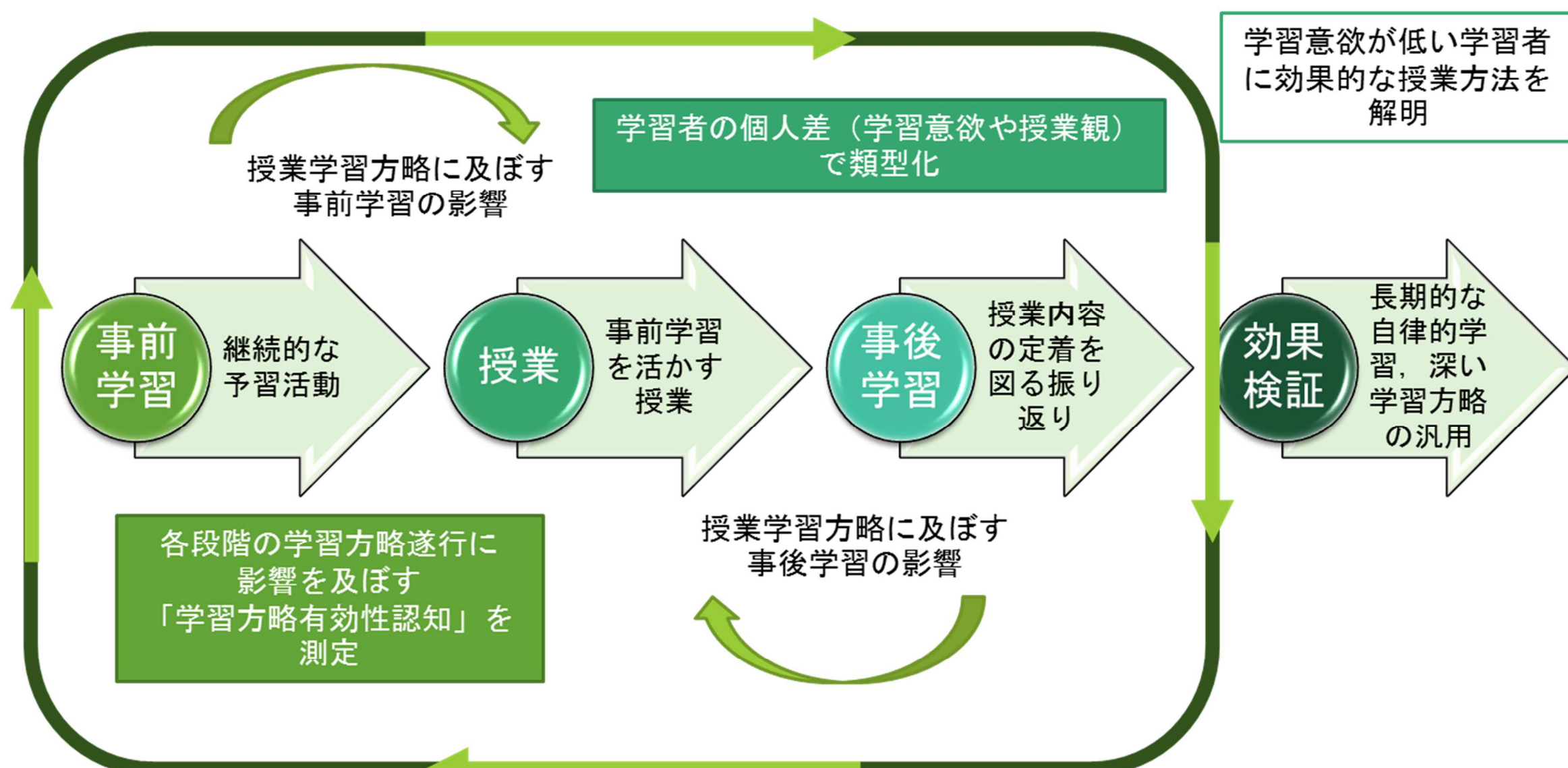
・松島るみ・尾崎仁美 2017
授業前の「問い」提示と予習が学習方略および授業への興味・理解度に及ぼす影響
日本心理学会第81回大会発表論文集

・松島るみ・尾崎仁美 2017
講義型授業開始時における「問い」の提示および予習に対する評価について
日本教育心理学会第59回大会発表論文集



右: 研究代表者
松島 るみ 教授

左: 研究分担者
尾崎 仁美 准教授



京都ノートルダム女子大学
研究・情報推進課

電話：075(706)3789
FAX：075(706)3793
電子メール：kenkyu@notredame.ac.jp